一般財団法人
東京都内湾漁業環境整備協会 No.77

令和５年度のカサゴ稚魚放流！

令和５年９月 12 日に都漁連内湾釣漁協議会（鈴木誠 会長他会員の方々）の御協力をいただき、羽田空港 D 滑走路北側のスリット護岸周辺水域において、カサゴ稚魚 2 万尾を放流しました。当協会では平成 7 年からカサゴ放流事業を開始し、平成 18 年以降は毎年 2 万尾を放流しており、累計放流尾数は 52.5 万尾になりました（これまでの放流実績 http://tokyoto-naiwan.server-shared.com/houruo.html）。

今年の稚魚は、平均全長 8.3cm（平均体重 11g）と昨年に比べやや大型で、輸送中にへい死する個体もなく、放流後は海底に向かって元気に泳いでいきました。カサゴは定着性が強く大きな移動をしないため、放流後もこの海域に留まると思われます。

当協会による羽田空港 D 滑走路周辺の調査では、様々なサイズのカサゴが延縄や刺網で採捕されるようになっていることから、放流した稚魚の一部は親魚に成長し、再生産に加わっているものと思われます。

当協会では、今後も豊かな東京内湾を目指して放流事業を継続していきます。

カサゴの積込作業（都漁連内湾釣漁協議会の協力をいただきました）

D 滑走路護岸周辺で放流

放流したカサゴ稚魚

D 滑走路護岸周辺の調査で採捕されたカサゴ